

整理番号	26-10	事務事業名	輪厚川親水事業		作成部署	建設部 都市整備課	電話	(内)778
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	加戸 博史	課長職名	藤井 高志	作成日	平成17年5月
事務事業開始年度	H 10	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	東部市街地の中心を流れる輪厚川を市民の憩いの場として整備することを目的とした市民団体の設立							

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち		(第 2 章)
	節	自然と緑と公園		(第 1 節)
	施策	親水事業		(第 3 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	『輪厚川と親しむ会』		
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	『輪厚川と親しむ会』の活動に対して補助し、輪厚川の河川環境の整備や保全、市民への憩いの場を提供することはもとより、市民参加による美しいまちづくり、市民と行政の協働によるまちづくり意識の醸成を目的とする。		
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	『輪厚川と親しむ会』への交付金の交付 『輪厚川と親しむ会』との協働による輪厚川周辺の環境整備 ・花壇整備 年4回～5回 ・輪厚川周辺の草刈り 年3回～4回 ・河川清掃 年2回	
		17年度	同上	

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	712	712	712	712
	合計	712	712	712	712
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		1,612	1,612	1,612	1,612

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	交付金の交付	年3回	年3回	年3回	年3回
	花壇整備回数	年5回	年5回	年4回～5回	年4回～5回
	草刈り回数	年5回	年4回	年3回～4回	年3回～4回
	清掃回数	年2回	年2回	年2回	年2回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	環境整備への市民参加数	250人	250人	250人	250人
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

**3 評価(チェック)と改善(アクション)**

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	『輪厚川と親しむ会』により整備される当該区域は、憩いの場として市民に定着している。市民参加や市民と行政の協働という手法は、まちづくりに欠くことのできない手法の一つであり、今後まちづくりの根幹をなしていくものと考えられる。
---------------------------------	--

**【妥当性の評価と改善の方法等】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民の要望するまちづくりに市は積極的に取り組むべきであり、それを担う『輪厚川と親しむ会』の活動を支援する市の関与は妥当であり、更には、市民によるまちづくり意識の高揚を図る必要がある。	事務局の市から団体への移行を図り、団体の独自・独立性とまちづくり意識を高めていく。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	『輪厚川と親しむ会』の事業目的は、河川環境の整備であり、整備区域は市民の憩いの場として定着している区域である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民参加により市民と行政の協働という形態で行われている事業である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

**【有効性と効率性の評価と改善の方法】**

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	整備区域は優れた景観を示し、市民の憩いの場として定着している。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	『輪厚川と親しむ会』の行う事業は、市の交付金とボランティアや会員の会費により行われており、交付金の削減は事業量の低下につながると考えられる。	

**【事務事業担当部局内優先度】**

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A          B          C

**4 総合判定と今後の方向性**

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	まちの優れた景観の維持、まちづくりへの市民参加意識の向上のためにも欠くことのできない事業であり、継続すべきである。今後、事務局の移管について検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	26-10
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	輪厚川と親しむ会交付金		
交付先の名称及び代表者名	輪厚川と親しむ会 会長 多田 治夫	設立年	平成9年
構成員(団体)数	16団体 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	河川愛護の思想を育て、河川周辺の環境を向上させる。		
交付先団体等の活動内容	輪厚川河川堤防内の草刈り 年3回～4回 輪厚川河川堤防内のごみ拾い 6月中旬 輪厚川花壇の植栽管理 6月～10月		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	712	712	712	
	会費	80	80	75	
	諸収入	34	21	1	
	繰越金	36	22	66	
	<b>収入合計(B)</b>	<b>862</b>	<b>835</b>	<b>854</b>	
支 出	事業費	822	742	819	
	・草刈り	(363)	(301)	(320)	
	・花苗代	(235)	(320)	(334)	
	・資材・消耗品	(150)	(65)	(90)	
	・保険料	(74)	(56)	(75)	
	事務費	18	27	35	
	<b>支出合計(C)</b>	<b>840</b>	<b>769</b>	<b>854</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	<b>22</b>	<b>66</b>	<b>0</b>	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		85 %	93 %	83 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業費	事業費	事業費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		822	742	819	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		87 %	96 %	87 %	
補助・交付金の算出根拠	定額				